

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町議会 総務常任委員会



令和元年大山町議会研修報告書

1	日 時	令和元年 7月 23日(火)～25日(木)	
2	研 修 地	滋賀県守山市 奈良県上牧町 奈良県明日香村 大阪府四條畷市	
3	研修内容	(内 容)	(場 所)
		① サイクルツーリズム拠点づくりによる集客拡大	滋賀県守山市
		② テレワークを活用した母親雇用創出事	奈良県上牧町
		③ クラウドファンディングを活用した古民家リノベーション	奈良県明日香村
		④ 全国最年少市長が先導する働き方改革	大阪府四條畷市
4	研修結果 又は概要 (意見・感想)	<p>① 自転車で琵琶湖一周「ビワイチ」のサイクルツーリズム拠点づくり 滋賀県守山市で自転車を活用したまちづくりについて学んだ。</p> <p>サイクリストの聖地「しまなみ」の成功事例を研究し、徹底的に守山市へ活かそうと、「ビワイチ起点のまち守山市」をキーワードに、しまなみに次ぐ聖地となるため、自転車を軸としたまちづくりを開始した。</p> <p>守山市は滋賀県の交通の大動脈である琵琶湖大橋の袂に位置しており、京都から車で1時間、京阪神・名古屋からのアクセスも良好であり、市内の地形は高低差がほとんどなく、自転車で移動しやすいなどの立地特性も有効に生かされていた。</p> <p>琵琶湖を一周するビワイチは全長約 200km あり体力に自信のない方や初心者が1日で回りきるのは大変である。そこで漁船タクシー事業を行う。漁業を行う漁船を活用し、サイクリストと自転車を運び、琵琶湖をショートカットし体力やお好みにあわせたルート設定が可能となった。また、湖上でしか見られない風景が楽しめる琵琶湖ならではの観光コンテンツである。</p> <p>長距離ライドも安心して行えるよう全国初のサポートカーを導入。人の輸送はもちろん、空気入れや救急箱も搭載されており、自転車の輸送も可能である。最大の特徴は後部座席を開けると脱着可能な棚が整備されており、エイドステーションに早変わりするところである。この他、プロサイクリスト監修の防水加工されたビワイチマップ、ICTを活用したスタンプラリー、東京からのバスツアーなど多くの仕掛けがされており、サイクリスト目線で観光やまちづくりが展開されていた。</p>	

<p>研修結果 又は概要 (意見・ 感想)</p>	<p>② ママスクエア テレワークを活用した母親雇用創出事業</p> <p>奈良県上牧町で子育てママの就労支援に向けた取り組みについて学んだ。 地域における課題は人口減少問題。4つの基本目標を標榜し総合戦略を策定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、教育・子育て環境を整え、プライベートと仕事を充実させる 2、若者世帯を中心とした転入世帯が住みやすい住環境を整備する 3、広域連携・地域連携による地域力の向上を推進する 4、上牧町で働き続けられる環境をつくる <p>基本目標1および4に主眼を置いた取り組みを展開する。 住民の声を知るために、町民アンケートを実施した。</p> <p>「結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的だと思いますか。」という問いに対し住民の答えは、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1位 安定した雇用機会の提供 2位 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実 3位 女性が働きやすい環境づくり <p>という結果であった。このことから、女性の働く場と機会の創出を求める声 が大きいということが明らかになった。また、施策案として「子どものそば で働きたい」、「シフト調整など時間の融通が利く」、「職場や同僚の理解」の3 点を掲げる。</p> <p>テーマは「安心して結婚・出産・子育てできるまちづくり」とし、結婚・出 産後も女性が希望を叶えられるライフワークの実現を主軸に事業が進められ た。葛城市の同事業の先進事例を活かし、ママスクエア（委託事業者）と官 民協働による母親の働く場と子育ての場の創出が進められていた。</p> <p>ショッピングモール内に、ワーキングスペースとキッズスペースを併設した 施設を整備し、女性の活躍の場の創出、育児環境の充実の2つの課題を同時 に解消し、働き方改革を実現させていた。また、子どもに目が届く場所での 仕事、母親同士が理解し合い同僚と助け合えることで、子どもを預けること への不安、職場等にかかる迷惑といった懸念を解消し、安心して子育てでき る環境を提供し、子どもの送り迎えの時間も不要と、育児・仕事の両立が図 られていた。</p> <p>安心して結婚・出産・子育てできるまちづくりへ向けての取り組みが進めら れていた。</p> <p>③ クラウドファンディングを活用した古民家リノベーション</p> <p>奈良県明日香村で古民家リノベーションによる集客拡大について学んだ。</p> <p>「日本はじまりの地、飛鳥」としての地域資源を活用し、商工会や観光協会 等で構成する飛鳥ニューツーリズム協議会が主体となって平成23年度から民 家ステイでの修学・研修旅行の誘致を開始し、体験プログラムの開発やPR</p>
---------------------------------------	---

研修結果
又は概要
(意見・
感想)

活動等により、海外も含めて受け入れ数が増加。地域一体となっておもてなしする態勢の整備を進めてきた。一方で宿泊施設の不足といった課題があった。背景には、通称：明日香法の存在があった。明日香法は1980年、国によって制定された法律であり、その対象は明日香村全域に及ぶ。歴史的風土を保存するために制定されたものであり、厳しい建築規制、及び開発が制限されている。地域全域にこのような景観規制が適応されているのは国内でも唯一明日香村のみとなっている。この規制により美しい景観が守られ、100年後も今と同じ風景が残ることがメリットであるが、厳しい開発規制により経済の衰退、人口流出がデメリットとしてあげられている。また、建築規制により大型ホテルや旅館は参入不可であった。年々増え続ける空き家への課題もあり有効活用できないかと検討する。そこで、地域の企業、団体、住民が共同で設立した民間企業がクラウドファンディングで資金調達し、古民家をゲストハウスに再生、活用を進める。シェアリングエコノミーの流れと相まって、利用客が増加していった。民間主体によるクラウドファンディングを活用したゲストハウスの整備・運営等と民家ステイ事業支援、補助制度による支援等の官民協働の取り組みが進められていた。

④ 全国最年少市長が先導する働き方改革

大阪府四條畷市で取り組まれている働き方改革について学んだ。

働き方の見直しによって、職員一人ひとりの生産性を高めることにより、市民サービスの向上を図るため働き方改革の推進を行っており、「日本一前向きな市役所」を目指していた。

マネジメント能力の強化のために管理職を対象とした研修を実施していた。この指導者養成研修は基本研修、事例研修をあわせて6ヶ月間の期間で行われていた。

改革のモデル課を決め、働き方改革へ取り組みが始まった。モデル課の中で

- ・無理なことや負担なことはしない
- ・まずは他人のためではなく自分のためだと思って考える
- ・そのうえで、チームのためにできることがあれば考える

という3つの取決めをしておよそ2週間に1度の頻度で会議が開始される。

時間帯は17:15～18:00迄の45分間。内容は付箋を使った付箋会議で、働き方に関する課題を抽出し、目標に向けて意見を出し合うもの。属人化の解消と仕事の効率性アップを重点課題として取り組みが始まる。

半年後のふりかえりでは、働き方改革を始めた頃は、課の課題は全て難易度が高く、解決しにくいものとみんなが考えていた。しかしながら、会議を重ねることで、少しの工夫で改善できていくと認識が変わったとのことだった。重要なのは意識改革であり、それは市民サービス向上のためである。そこへ向けた働き方改革が力強く進められていた。

	<p>研修結果 又は概要 (意見・ 感想)</p>	<p>感想</p> <p>まちづくり、観光振興、雇用創出、行政改革など幅広い分野で見識の広がる研修であったと感じます。地域の課題を明確にし、解決のために何をするべきか、地域特性を理解し力強く事業を前に進める人の大切さにあらためて触れることができました。</p> <p>守山市「ビワイチ」の計画と実施は専門性の高い職員で実施されており、民間との共同戦略も工夫が施されていました。</p> <p>上牧町の子育てママ就業支援事業では働く子育て世代への支援は自治体により様々であり、「ママスクエア」では母子がすぐ近くに居ることで保育所（園）とは異なる安心感や魅力があったと感じられました。</p> <p>明日香村の古民家リノベーションによる集客拡大では事務局、担当者の熱意と商工会が観光の一端を担うことで経済波及効果に繋がることを実感しました。また地域資源を生かし、民泊ブームを捉えた取り組みで、その成果は評価出来るものであり、官民一体となった取り組みは模範とするべきものがありました。大山町の事業を鑑み、補助金などを当て込んだ事業については慎重な吟味がさらに必要だと思いました。</p> <p>四條畷市での働き方改革では対話を通じて職員一人ひとりの働きが住民のためになるとの考えの基、自らの考えにより、働くことにより働き方改革に繋がってくるとの考えは参考となりました。働き方改革とは残業時間を減らせば良いというものではなく、職員の意識改革が最も大切であると感じました。</p> <p>先進事例を学び本町に落とし込み、より良いまちづくりへ尽力します。</p>
--	---------------------------------------	--